

平成21年6月15日

文部科学大臣

塩谷立殿

〒113-0033  
東京都文京区本郷2丁目17番5号  
ツイン壱岐坂1102号室  
財団法人 総合工学振興会  
理事長 吉田邦夫



## 平成20年度事業状況等の報告について

平成21年5月30日開催の第1回理事会及び評議員会において、平成20年度事業状況報告及び同収支決算書が承認されましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等の施行に伴う文部科学省関係省令の整理に関する省令（平成20年文部科学省令第36号）第1条の規定による廃止前の「文部科学大臣の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則」第8条の規定に基づき、関係書類を添えて報告いたします。

### 添付書類

1. 平成20年度事業状況報告書
2. 平成20年度収支計算書
3. 平成20年度末正味財産増減計算書
4. 平成20年度末貸借対照表
5. 平成20年度末財産目録
6. 平成21年度第1回理事会・評議員会議事録

## 1. 事業状況報告

1.1 事業の期間：平成20年4月1日から平成21年3月31日までとする。

### 1.2 実施事業の概要

#### 1.2.1 研究助成事業

##### 1.2.1.1 研究奨励金交付

研究分野としては情報科学、化学材料工学、機械工学、生物工学、社会環境工学等の各種工学分野を対象とし6件助成

公募期間：平成20年7月1日～8月8日（ホームページ），応募者9名

選考結果：8月18日～9月12日間に選考委員全員が応募論文を審査  
9月22日の選考委員会で下記の6件が研究奨励金交付に  
適正と認証

決 定：平成20年9月30日理事会、評議員会で承認し決定

決定通知：平成20年10月17日 採択通知書郵送、ホームページ発表

交付者	所属	研究課題
松野 泰也	東京大学大学院 工学研 究科 准教授	夜間光衛星画像を利用したアジア地域における 銅ストック量の推計
東海林 義和	埼玉大学 地域共同研究 センター 客員教授	植物成分・大麦ベータグルカンの癌予防薬への可 能性評価研究
堀場 弘司	東京大学 大学院工学系 研究科 助教	走査型3次元光電子顕微鏡装置の開発
黒木 学	大阪大学大学院基礎工学 研究科 准教授	不完全情報に基づく統計的因果推論技術の開発 と実質科学への応用
野中 寛	三重大学 生物資源研究 科 准教授	溶媒可溶型バイオ個体酸触媒の創製
鳥越 秀峰	東京理科大学 理学部第 一部応用化学科 准教授	糖尿病発症予防を目指した糖尿病発症関連遺伝 子の一塩基多型の新規効率的検出方法の開発

##### 1.2.1.2 国際研究交流助成：2件

平成20年8月1日：協賛（東京大学）

「第4回国際医用画像および拡張現実感ワークショップ」

平成20年8月31日～9月3日協賛（札幌）

「革新的エネルギー・環境化学工学に関する第1回アジア会議」

##### 1.2.1.3 科学技術普及助成

日江井榮二郎東京大学名誉教授が行っている中小生向け理科学普及  
活動「天体観測の体験教育」へ助成

#### 1.2.2 人材育成事業

##### 1.2.2.1 総合工学公開講座

###### ● 公開講座

公開セミナー：独立行政法人 物質・材料研究機構の公開イブニング

セミナーへ協賛（15回実施）

平成20年10月10日協賛（デンマーク）

「The symbiosis Institute, Kalundborg, Denmark」

1.3.2.2 国際シンポジウム開催経費

● 国際シンポジウム開催

平成20年4月18日～20日：総合工学振興会主催（台湾）

「Taiwan-Japan International Symposium  
on Organic Chemistry and Molecular Science」

平成20年11月3日共催（ストックホルム）

「International Symposium in Stockholm」

1.4 決算報告書

平成20年度収支決算書を4～10ページに報告。

平成20年度

収支決算報告書

財団法人 総合工学振興会

# 平成20年度収支計算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①財産運用収入	6,810,000	4,104,174	2,705,826	
基本財産運用益	2,800,000	944,834	1,855,166	ヨーロッパファイナンス金利の低下
運用資産運用益	4,000,000	3,156,851	843,149	ヨーロッパファイナンス金利の低下
受取利息	10,000	2,489	7,511	
②賛助会費	5,400,000	3,750,000	1,650,000	賛助会員増加予定が環境悪化
③運用財産取崩収入	0	0	0	
④雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	12,210,000	7,854,174	4,355,826	
2. 事業活動支出				
①事業費	10,100,000	14,220,739	Δ 4,120,739	
研究助成	4,200,000	4,200,000	0	
国際研究交流助成	1,000,000	1,000,000	0	
科学技術普及助成	500,000	500,000	0	
研究助成推進費	1,400,000	1,087,300	312,700	
給料手当	0	2,184,067	Δ 2,184,067	配賦方式変更
会議費	0	28,158	Δ 28,158	同上
旅費交通費	0	128,855	Δ 128,855	同上
通信費	0	168,296	Δ 168,296	同上
印刷消耗品費	0	24,516	Δ 24,516	同上
地代家賃	0	711,018	Δ 711,018	同上
水道光熱費	0	40,893	Δ 40,893	同上
雑費	0	69,171	Δ 69,171	同上
総合工学公開講座費	1,000,000	600,000	400,000	
国際シンポジウム開催費	1,000,000	982,430	17,570	
人材育成推進費	1,000,000	767,716	232,284	
給料手当	0	1,125,125	Δ 1,125,125	配賦方式変更
会議費	0	14,505	Δ 14,505	同上
旅費交通費	0	66,380	Δ 66,380	同上
通信費	0	86,698	Δ 86,698	同上
印刷消耗品費	0	12,630	Δ 12,630	同上
地代家賃	0	366,282	Δ 366,282	同上
水道光熱費	0	21,066	Δ 21,066	同上
雑費	0	35,633	Δ 35,633	同上

②管理費	5,864,000	975,379	4,888,621	配賦方式変更
給料手当	3,600,000	174,168	3,425,832	同上
会議費	400,000	383,971	16,029	同上
旅費交通費	200,000	10,275	189,725	同上
通信費	270,000	28,333	241,667	同上
印刷消耗品費	50,000	4,127	45,873	同上
地代家賃	1,134,000	56,700	1,077,300	同上
水道光熱費	80,000	3,261	76,739	同上
公租公課	70,000	70,000	0	同上
雑費	60,000	244,544	Δ184,544	同上
③その他支出	0	0	0	
雑損	0	0	0	
事業活動支出計	15,964,000	15,196,118	767,882	
事業活動収支差額	Δ3,754,000	Δ7,341,944	3,587,944	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
事務所敷金返還	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
事務所敷金支払	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
予備費支出計	0	0	0	
当期収支差額	Δ3,754,000	Δ7,341,944	3,587,944	
前期繰越収支差額	5,056,630	9,880,438	Δ4,823,808	
次期繰越収支差額	1,302,630	2,538,494	Δ1,235,864	

平成20年度末正味財産増減計算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1) 基本財産運用益			
基本財産運用益	944,834	2,864,796	△ 1,919,962
特定資産運用益	3,156,851	4,052,967	△ 896,116
賛助会費収入	3,750,000	3,150,000	600,000
受取利息	2,489	12,857	△ 10,368
雑収入	0	20,000	△ 20,000
経常収益計	7,854,174	10,100,620	△ 2,246,446
(2) 経常費用			
1) 事業費			
一般研究助成費用	4,200,000	4,200,000	0
国際研究交流助成費用	1,000,000	700,000	300,000
科学技術普及助成費用	500,000	500,000	0
研究助成推進費用	1,087,300	3,929,943	△ 2,842,643
研究助成配賦管理費	3,354,974	0	3,354,974
総合工学公開講座経費	600,000	931,807	△ 331,807
国際シンポジウム開催経費	982,430	440,000	542,430
人材育成推進経費	767,716	2,077,072	△ 1,309,356
人材育成配賦管理費	1,728,319	0	1,728,319
事業費計	14,220,739	12,778,822	1,441,917
2) 管理費			
給料手当	174,168	681,664	△ 507,496
会議費	383,971	38,605	345,366
旅費交通費	10,276	40,298	△ 30,022
通信費	28,333	59,502	△ 31,169
印刷消耗品費	4,127	8,765	△ 4,638
地代家賃	56,700	245,500	△ 188,800
水道光熱費	3,261	15,247	△ 11,986
公租公課	70,000	900	69,100
減価償却費	23,024	31,979	△ 8,955
雑費	221,519	339,828	△ 118,309
管理費計	975,379	1,462,288	△ 486,909
経常費用計	15,196,118	14,241,110	955,008
当期経常増減額	△ 7,341,944	△ 4,140,490	△ 3,201,454
2. 経常外増減の部			
(1) 経常収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
経常外費用計	0	1,118,681	△ 1,118,681
当期経常外増減額	0	△ 1,118,681	1,118,681
当期一般正味財産増減額	△ 7,341,944	△ 5,259,171	△ 2,082,773
一般正味財産期首残高	152,771,690	158,030,861	△ 5,259,171
一般正味財産期末残高	145,429,746	152,771,690	△ 7,341,944
II. 指定正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産運用益	0	0	0
② 受取寄付金	0	0	0
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業費計	0	0	0
② 管理費			
管理費計	0	0	0
経常費用計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III. 正味財産期末残高	245,429,746	252,771,690	△ 7,341,944

## 平成20年度貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,569,512	9,898,072	△ 7,328,560
流動資産合計	2,569,512	9,898,072	△ 7,328,560
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産 (研究助成財産)			
普通預金	0	0	0
有価証券	142,545,036	142,545,036	0
特定資産合計	142,545,036	142,545,036	0
(3) その他固定資産			
什器備品	59,208	82,232	△ 23,024
敷金	189,000	189,000	0
電話加入権	74,984	74,984	0
その他固定資産合計	323,192	346,216	△ 23,024
固定資産合計	242,868,228	242,891,252	△ 23,024
資産合計	245,437,740	252,789,324	△ 7,351,584
II. 負債の部			
流動負債			
預り金	7,994	17,634	△ 9,640
前受会費	0	0	0
負債合計	7,994	17,634	△ 9,640
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	145,429,746	152,771,690	△ 7,341,944
(うち特定資産への充当額)	(142,545,036)	(142,545,036)	0
正味財産合計	245,429,746	252,771,690	△ 7,341,944
負債及び正味財産合計	245,437,740	252,789,324	△ 7,351,584



平成20年度財産目録

平成21年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金 現金手持有高	129,515	
普通預金 みずほ銀行	1,092,178	
りそな銀行	174,543	
国債-野村証券	0	
フリーファイナンシャルファンド-野村	1,173,276	
流動資産合計		2,569,512
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
社債 ヨーロッパFNV 1	50,000,000	
ヨーロッパFNV 2	50,000,000	
基本財産合計	100,000,000	
(2) 特定資産 (研究助成財産)		
普通預金 みずほ銀行	0	
有価証券 ノムラヨーロッパ F7687	100,000,000	
アルゼンチン債	12,545,036	
国債-野村証券	0	
フリーファイナンシャルファンド-野村	30,000,000	
特定資産合計	142,545,036	
(2) その他固定資産		
什器備品	59,208	
敷金	189,000	
電話加入権	74,984	
その他固定資産合計	323,192	
固定資産合計		242,868,228
資産合計		245,437,740
II. 負債の部		
1. 流動負債		
預り金	7,994	
前受会費	0	
流動負債合計		7,994
2. 固定負債		
負債合計		7,994
正味財産		245,429,746

## 平成20年度計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券…償却原価法（定額法）によっている。

2. 基本財産および特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
普通預金	0	0	0	0
有価証券	142,545,036	0	0	142,545,036
小計	142,545,036	0	0	142,545,036
合計	242,545,036	0	0	242,545,036

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
有価証券	100,000,000	100,000,000	—	—
小計	100,000,000	100,000,000	—	—
特定資産				
普通預金	0	—	0	—
有価証券	142,545,036	—	142,545,036	—
小計	142,545,036	—	142,545,036	—
合計	242,545,036	100,000,000	142,545,036	—

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
流動資産			
フリーファイナンシャルアクト <sup>°</sup> —野村	1,173,276	—	—
基本財産			
社債 ノムヨーロッパ <sup>°</sup> 2364	50,000,000	33,475,000	△ 16,525,000
ノムヨーロッパ <sup>°</sup> 2364	50,000,000	33,475,000	△ 16,525,000
特定資産			
フリーファイナンシャルアクト <sup>°</sup> —野村	30,000,000	—	—
アルゼンチン債 *1	12,545,036	—	—
社債 ノムヨーロッパ <sup>°</sup> 7687	100,000,000	77,740,000	△ 22,260,000

\*1：平成17年度に評価損失を計上した。

## 平成20年度収支決算書における管理関係費用配賦の詳細

### 基本方針

1. 管理関係費用は管理費と研究助成事業費、及び人材育成事業費へ配賦する
2. 管理費として管理関係費用の内  
給料手当、旅費交通費、地代家賃、水道光熱費は5%、  
通信費、印刷消耗品費は10%、  
雑費は会計監査人報酬その他で70%、会議費は90%配賦
3. 管理関係費用から管理費を差し引いた額を公益事業費へ配賦
4. 内訳は研究助成事業費が66%、人材育成事業費が34%

	管理費	配賦管理費	事業費への配賦額	研究助成66%	人材育成34%
給料手当	3,483,360	174,168	3,309,192	2,184,067	1,125,125
会議費	426,634	383,971	42,663	28,158	14,505
旅費交通費	205,510	10,275	195,235	128,855	66,380
通信費	283,327	28,333	254,994	168,296	86,698
印刷消耗品費	41,273	4,127	37,146	24,516	12,630
地代家賃	1,134,000	56,700	1,077,300	711,018	366,282
水道光熱費	65,220	3,261	61,959	40,893	21,066
公租公課	70,000	70,000	0	0	0
雑費	349,348	244,544	104,804	69,171	35,633
合計	6,058,672	975,379	5,083,293	3,354,974	1,728,319


# 独立監査人の監査報告書

平成21年5月2日

財団法人 総合工学振興会  
理事長 吉田 邦夫 殿

東京都千代田区神田小川町3-7-13  
ヴァンサンクビル4F  
大山公認会計士事務所

公認会計士

大山 孝毅 

私は、財団法人総合工学振興会の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの平成20事業年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次の通りである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人総合工学振興会の平成20事業年度末の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、財団法人総合工学振興会の平成20事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める


財団法人総合工学振興会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。


以上

平成21年5月2日

財団法人 総合工学振興会

理事長 吉田邦夫 殿

監事 佐分利 正彦 

監事 侘美次彦 

### 監 査 報 告 書

私達は、民法第59条及び本財団法人寄付行為第17条に基づいて本財団の平成20年4月1日に始まり平成21年3月31日に終了した会計年度の貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書を監査し、本財団法人の財産及び業務執行の状況を監査致しました。

上記監査に当たっては、私達が必要と認めた監査手続きを実施致しました。監査の結果、私達は、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書が公益法人会計基準に準拠して作成されており、本財団法人の上記会計年度末の財政状態及び同会計年度中の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

また、本財団の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重要な事実はありません。

上記の通り監査の意見を報告致します。

以上

平成21年度第1回評議員会議事録

1. 日 時： 平成21年5月30日(土) 10時30分～11時15分
2. 場 所： 山上会館会議室001(本郷東京大学構内)
3. 出席者： 吉田邦夫理事長、佐分利正彦監事、佐美 次彦監事  
平尾雅彦評議員、川田雄一評議員、東海林義和評議員、山本信之評議員  
中西 正評議員、松野泰也評議員、富永信秀評議員
4. 欠席者： 土肥健純評議員、加納啓良評議員、渡邊公綱評議員、溝部裕司評議員  
堂免一成評議員、高橋 勉評議員、鎗目 雅評議員
5. 委任状提出者： 土肥健評議員、加納啓良評議員、渡邊公綱評議員、溝部裕司評議員  
高橋 勉評議員、鎗目 雅評議員
6. 定 足 数： 会議に先立ち福田義夫事務局長から本会議定足数が報告された。  
評議員14名中7名出席、6名委任状提出、定足数14名に対し有効数13名で  
評議員会は成立
7. 議 長： 議長に川田雄一評議員が選任された。
8. 議事録署名人の選出： 議事録署名人として平尾雅彦評議員と松野泰也評議員が選任された。
9. 審議事項

① 平成20年度事業状況報告：福田義夫事務局長から以下の報告がなされた。

- 事業の期間：平成20年4月1日から平成21年3月31日
- 研究助成事業

◇ 研究奨励金交付

公募期間：平成20年7月1日～8月8日(ホームページ)、応募者9名

選考結果：8月18日～9月12日間に選考委員全員が応募論文を審査

9月22日の選考委員会で下記の6件が研究奨励金交付に適正と認証

- ◆ 松野 泰也：東京大学大学院 工学研究科 准教授  
夜間光衛星画像を利用したアジア地域における銅ストック量の推計
- ◆ 東海林義和：埼玉大学 地域共同研究センター 客員教授  
植物成分・大麦ベータグルカンの癌予防薬への可能性評価研究
- ◆ 堀場 弘司：東京大学 大学院工学系研究科 助教  
走査型3次元光電子顕微鏡装置の開発
- ◆ 黒木 学：大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授  
不完全情報に基づく統計的因果推論技術の開発と実質科学への応用
- ◆ 野中 寛：三重大学 生物資源研究科 准教授  
溶媒可溶型バイオ個体酸触媒の創製
- ◆ 鳥越 秀峰：東京理科大学 理学部第一部応用化学科 准教授  
糖尿病発症予防を目指した糖尿病発症関連遺伝子の一塩基多型の  
新規効率的検出方法の開発

決 定：平成20年9月30日理事会、評議員会で承認し決定した。

決定通知：平成20年10月17日 採択通知書郵送、ホームページ発表。

- ◇ 国際研究交流助成：2件
  - ◆ 平成20年8月1日：協賛（東京大学）  
「第4回国際医用画像および拡張現実感ワークショップ」
  - ◆ 平成20年8月31日～9月3日協賛（札幌）  
「革新的エネルギー・環境化学工学に関する第1回アジア会議」
- ◇ 科学技術普及助成
  - 日江井榮二郎東京大学名誉教授が行っている小中学生向け理科学普及活動  
「天体観測の体験教育」へ助成。
- 人材育成事業
  - ◇ 総合工学公開講座
    - ◆ 定例公開セミナーとして独立行政法人 物質・材料研究機構の公開イブニングセミナーへ協賛（15回実施）
    - ◆ 平成20年10月10日協賛（デンマーク）  
「The symbiosis Institute, Kalundborg, Denmark」
  - ◇ 国際シンポジウム開催経費
    - 国際シンポジウム開催
      - ◆ 平成20年4月18日～20日：総合工学振興会主催（台湾）  
「Taiwan-Japan International Symposium  
on Organic Chemistry and Molecular Science」
      - ◆ 平成20年11月3日共催（ストックホルム）  
「International Symposium in Stockholm」
- ② 平成20年度決算報告：福田義夫事務局長から以下の報告と説明がなされた。
  - 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録、会計士からの計算書類に対する注記、監事の監査報告書、独立監査人の監査報告書等の説明。
  - 収入は基金の運用益と賛助会費で、世界的な金融情勢の急変で運用益は低下している。
  - 運用財産の取り崩しはない。
  - 管理費と事業費の配布基準についての説明
    - ◇ 財団法人 総合工学振興会は公益事業以外行っていない。
    - ◇ 公益認定等ガイドラインを参考に事業費へ管理費の一部を配賦した。
- ③ 平成20年度事業状況報告、並びに収支決算書承認
  - 質疑応答後、川田雄一議長が採決を求め出席評議員全員の賛成で平成20年度事業状況報告、並びに収支決算書は承認された。
- ④ 平成21年度研究奨励金交付者承認の件：70万円×6件
  - 平成21年度研究奨励金交付者選考結果の報告が小川昭二郎選考委員長からあった。
  - ◇ 募集期間：平成21年2月23日～3月25日
  - ◇ 募集方法：財団ホームページで公開 応募者数：9名
  - ◇ 選考結果：評価基準書に基づき3月26日から4月24日間に選考委員全員が応募論文を審査し評価表を事務局長へ提出、集計結果に基づき5月2日選考委員会で審議し以下の6名に決定。
    - ◆ 三原 誠：東京大学医学部付属病院 形成外科医局 助教

- ◆ 神崎 昌郎：東海大学工学部 機械工学科 教授  
Ti 添加による DLC 膜の密着性向上および人工股関節への応用検討
- ◆ 小松登志子：埼玉大学大学院 理工学研究科 教授  
土壌内におけるコロイド粒子の移動特性の評価
- ◆ 佐久間信至：摂南大学薬学部 薬学科 准教授  
臨床応用的視点に基づく大腸癌認識性レクチン固定化蛍光ナノスフェアの造影能の検証
- ◆ 田中 展：大阪大学大学院 工学研究科 特任助教  
可変回転剛性を有する柔軟節構造体の基礎研究
- ◆ 天尾 豊：大分大学工学部 応用化学科 准教授  
酵素・光合成膜複合系による水と二酸化炭素を原料とした光駆動型メタノール合成プロセスの開発

質疑応答後、川田雄一議長が採決を求め出席評議員全員の賛成で承認された。

- ⑤ 平成21年度科学技術普及助成金交付者承認の件：15万円×2件  
平成21年度科学技術普及助成金交付対象者の公募結果報告：福田義夫事務局長からあった
- ◇ 募集期間：平成21年3月2日～4月3日
  - ◇ 募集方法：財団ホームページで公開 応募者数：2件
  - ◇ 東京都立葛西工業高等学校 竹内 篤教諭  
「マイクロコンピューターを使用した相撲ロボットの製作」
  - ◇ 東京工業大学附属科学技術高等学校 科学技術科 森安 勝 教諭  
「塩化銀廃液から銀ナノパーティクルの合成」

質疑応答後、川田雄一議長が採決を求め出席評議員全員の賛成で承認された。

- ⑥ 選考規程改定について
- 福田義夫事務局長から改定案が説明された
  - 各条文を審査検討し選考規程を改定、平成21年6月1日から実施する。
- ⑦ その他：なし

以上の議事の経過・結果を議事録にし、議長及び議事録署名人がこれに署名、押印する。

平成21年5月30日

財団法人 総合工学振興会 平成21年度第1回評議員会

議 長

川 田 雄 一



議事録署名人

平 尾 雅 秀



議事録署名人

松 野 泰 也



原本と相違ありません  
平成21年6月15日

理事長 吉田 邦 夫





平成21年度第1回理事会議事録

1. 日 時：平成21年5月30日（土） 11時30分～12時30分
  2. 場 所：山上会館会議室001（本郷東京大学構内）
  3. 出席者：吉田邦夫理事長、野水重勝理事、西郷和彦理事、小川昭二郎理事  
高田雅介理事、鯉沼秀臣理事、高橋 保理事、中島 幹理事、堤 敦司理事  
水野哲孝理事、侘美次彦監事、佐分利正彦監事
  4. 定 足 数：会議に先立ち、福田義夫事務局長から本会議定足数が報告された。  
理事10名、監事2名、各全員出席で理事会は成立。
  5. 議 長：規定により議長は吉田邦夫理事長が行う。
  6. 議事録署名人の選出：議事録署名人として西郷和彦理事と水野哲孝理事が選任された。
  7. 審議事項
- ① 平成20年度事業状況報告：福田義夫事務局長から以下の報告がなされた。
- 事業の期間：平成20年4月1日から平成21年3月31日
  - 研究助成事業
    - ◇ 研究奨励金交付  
公募期間：平成20年7月1日～8月8日（ホームページ）、応募者9名  
選考結果：8月18日～9月12日間に選考委員全員が応募論文を審査。  
9月22日選考委員会で下記の6件が研究奨励金交付に適正と認証。
      - ◆ 松野 泰也：東京大学大学院 工学研究科 准教授  
夜間光衛星画像を利用したアジア地域における銅ストック量の推計
      - ◆ 東海林義和：埼玉大学 地域共同研究センター 客員教授  
植物成分・大麦ベータグルカンの癌予防薬への可能性評価研究
      - ◆ 堀場 弘司：東京大学 大学院工学系研究科 助教  
走査型3次元光電子顕微鏡装置の開発
      - ◆ 黒木 学：大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授  
不完全情報に基づく統計的因果推論技術の開発と実質科学への応用
      - ◆ 野中 寛：三重大学 生物資源研究科 准教授  
溶媒可溶型バイオ個体酸触媒の創製
      - ◆ 鳥越 秀峰：東京理科大学 理学部第一部応用化学科 准教授  
糖尿病発症予防を目指した糖尿病発症関連遺伝子の一塩基多型の  
新規効率的検出方法の開発
- 決 定：平成20年9月30日理事会、評議員会で承認し決定した。  
決定通知：平成20年10月17日 採択通知書郵送、ホームページ発表。
- ◇ 国際研究交流助成：2件
    - ◆ 平成20年8月1日：協賛（東京大学）  
「第4回国際医用画像および拡張現実感ワークショップ」
    - ◆ 平成20年8月31日～9月3日協賛（札幌）  
「革新的エネルギー・環境化学工学に関する第1回アジア会議」

◇ 科学技術普及助成

日江井榮二郎東京大学名誉教授が行っている小中学生向け理科学普及活動  
「天体観測の体験教育」へ助成。

● 人材育成事業

◇ 総合工学公開講座

◆ 定例公開セミナーとして独立行政法人 物質・材料研究機構の公開イブニングセミナーへ協賛（15回実施）

◆ 平成20年10月10日協賛（デンマーク）

「The symbiosis Institute, Kalundborg, Denmark」

◇ 国際シンポジウム開催経費

国際シンポジウム開催

◆ 平成20年4月18日～20日：総合工学振興会主催（台湾）

「Taiwan-Japan International Symposium  
on Organic Chemistry and Molecular Science」

◆ 平成20年11月3日共催（ストックホルム）

「International Symposium in Stockholm」

② 平成20年度決算報告：福田義夫事務局長から以下の報告と説明がなされた。

● 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録、会計士からの計算書類に対する注記、監事の監査報告書、独立監査人の監査報告書等の説明。

● 収入は基金の運用益と賛助会費で、世界的な金融情勢の急変で運用益は低下している。

● 運用財産の取り崩しはない。

● 管理費と事業費の配布基準についての説明

◇ 財団法人 総合工学振興会は公益事業以外行っていない。

◇ 公益認定等ガイドラインを参考に事業費へ管理費の一部を配賦した。

③ 平成20年度事業状況報告、並びに収支決算書承認

質疑応答後、吉田邦夫議長が採決を求め出席理事全員の賛成で平成20年度事業状況報告、並びに収支決算書は承認された。

④ 平成21年度研究奨励金交付者承認の件：70万円×6件

平成21年度研究奨励金交付者選考結果の報告が小川昭二郎選考委員長からあった。

◇ 募集期間：平成21年2月23日～3月25日

◇ 募集方法：財団ホームページで公開 応募者数：9名

◇ 選考結果：評価基準書に基づき3月26日から4月24日間に選考委員全員が応募論文を審査し評価表を事務局長へ提出、集計結果に基づき5月2日選考委員会で審議し以下の6名に決定。

◆ 三原 誠：東京大学医学部付属病院 形成外科医局 助教

手術手技革新・凍結保存技術革新による小児癌の妊孕性保存研究  
～過冷却・臓器凍結保存装置の開発～

◆ 神崎 昌郎：東海大学工学部 機械工学科 教授

- ◆ 佐久間信至：摂南大学薬学部 薬学科 准教授  
臨床応用的視点に基づく大腸癌認識性レクチン固定化蛍光ナノスフェアの造  
影能の検証
- ◆ 田中 展：大阪大学大学院 工学研究科 特任助教  
可変回転剛性を有する柔軟節構造体の基礎研究
- ◆ 天尾 豊：大分大学工学部 応用化学科 准教授  
酵素・光合成膜複合系による水と二酸化炭素を原料とした光駆動型  
メタノール合成プロセスの開発

質疑応答後、吉田邦夫議長が採決を求め出席理事全員の賛成で承認された。

⑤ 平成21年度科学技術普及助成金交付者承認の件：15万円×2件

平成21年度科学技術普及助成金交付対象者の公募結果報告：福田義夫事務局長からあった。

- ◇ 募集期間：平成21年3月2日～4月3日
- ◇ 募集方法：財団ホームページで公開 応募者数：2件
- ◇ 東京都立葛西工業高等学校 竹内 篤教諭  
「マイクロコンピューターを使用した相撲ロボットの製作」
- ◇ 東京工業大学附属科学技術高等学校 科学技術科 森安 勝 教諭  
「塩化銀廃液から銀ナノパーティクルの合成」

質疑応答後、吉田邦夫議長が採決を求め出席理事全員の賛成で承認された。

⑥ 選考規程改定について

- 福田義夫事務局長から改定案が説明された。
- 各条文を審査検討し選考規程を改定、平成21年6月1日から実施する。

⑦ その他


なし

以上の議事の経過・結果を議事録にし、議長及び議事録署名人がこれに署名、押印する。


平成21年5月30日

財団法人 総合工学振興会 平成21年度第1回理事会


議 長

吉田 邦夫 

議事録署名人


水野 哲孝 

議事録署名人

西郷 和彦 

原本と相違ありません

平成21年6月15日

理事長 吉田 邦夫 

以上